

7 福薬業発第 183 号
令和 7 年 9 月 1 日

各地区薬剤師会会長 殿

公益社団法人福岡県薬剤師会
常務理事 竹野 将行

**「患者のケア移行に伴う薬剤師間の情報連携の現状把握とその解決に向けた
調査研究」に関するアンケート調査へのご協力をお願い**

平素より本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、厚生労働科学研究において標記アンケート調査が実施されることとなり、日本薬剤師会より別添のとおり協力依頼がありましたのでお知らせいたします。

本調査は、薬局薬剤師を対象に、「ケア移行時における薬剤情報連携」について、現状課題の把握と解決策を明らかにすることを目的として実施されます。ご多忙とは存じますが、貴会会員へのご周知方よろしくお願い申し上げます。

記

アンケート回答 URL : <https://forms.gle/nAgz5E62BECtWTUi8>

回答期限 : 2025 年 9 月 30 日 (火)

以 上

日 薬 情 発 第 82 号
令 和 7 年 8 月 26 日

都道府県薬剤師会 担当役員 殿

日 本 薬 剤 師 会
副会長 渡邊 大記

「患者のケア移行に伴う薬剤師間の情報連携の現状把握とその解決に向けた調査研究」に関するアンケート調査へのご協力のお願い

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、厚生労働科学研究において「患者のケア移行に伴う薬剤師間の情報連携の現状把握とその解決に向けた調査研究（24IA002、研究代表者：寺田智祐）」に関するアンケート調査を実施する旨の連絡がありましたのでお知らせいたします。

本調査は、薬局薬剤師を対象に、「ケア移行時における薬剤情報連携」についてアンケート調査を行い、現状課題の把握と解決策を明らかにすることを目的として実施されるものです。

会務ご多用のところ誠に恐れ入りますが、貴会会員にご周知いただき、アンケート調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケート回答URL：<https://forms.gle/nAgz5E62BECtWTUi8>

回答期限：2025年9月30日（火）

令和 7 年 8 月 25 日

公益社団法人 日本薬剤師会
会員 各位

京都大学医学部附属病院 薬剤部
寺田 智祐

「患者のケア移行に伴う薬剤師間の情報連携の現状把握とその解決に向けた調査研究」
に関するアンケート調査へのご協力のお願い

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、厚生労働科学研究において、「患者のケア移行に伴う薬剤師間の情報連携の現状把握とその解決に向けた調査研究（24IA002、研究代表者：寺田智祐）」に関するアンケート調査を実施することとなりました。本アンケート調査では、ケア移行における薬剤情報連携の現状課題の把握及びその解決策を明らかにすることを目指しております。

ご回答いただきました内容を集計し、「厚生労働科学研究」に報告する予定ではございますが、集計結果は統計学的な処理を行うため、貴施設の個別情報が公開されることはございません。また本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の承認（承認番号：R5120）を得て実施するものです。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、すべての回答は、施設の代表者をご回答ください。回答にかかる時間は約 15～30 分です。

[調査対象]

公益社団法人 日本薬剤師会 会員施設

[アンケート回答期限]

2025 年 9 月 30 日（火）迄

[アンケート回答フォーム]

<https://forms.gle/nAgz5E62BECtWTUi8>



お問い合わせ先

代表者：寺田 智祐（京都大学医学部附属病院 薬剤部 教授）

E-mail：teradat@kuhp.kyoto-u.ac.jp

事務局：幾田 慧子（京都大学医学部附属病院 薬剤部）

E-mail：ikuta_k@kuhp.kyoto-u.ac.jp

ケア移行時における薬剤情報の連携に関する実態調査（薬局）

Google にログインすると作業内容を保存できます。 [詳細](#)

* 必須の質問です

I. 回答者の属性に関するアンケート

1. 薬局がある都道府県を教えてください *

回答を入力

2. 現在の勤務先の薬剤師数をお答えください（：常勤換算） *

回答を入力

3. 薬局が担っている主な業務を、どちらか選択してください。 *

- ☐ 調剤・服薬指導（外来）
- ☐ 訪問薬剤管理指導（在宅・施設）

4-1. 調剤業務など薬剤師業務を補助する事務員は雇用していますか？ *

- ☐ 雇用している
- ☐ 雇用していない

4-2. 雇用している場合、その事務員数を教えてください（：常勤換算） *

回答を入力

5.患者が入院したことを、どのタイミングで把握する場合がありますか？ *

- ☐ 入院前
- ☐ 入院中
- ☐ 退院後
- ☐ 把握できないことが多い

6.服薬情報等提供料³をどれくらい算定されていますか？（直近の月） *

回答例：「〇件/月」または「なし」

回答を入力

7.患者が緊急入院した際に、その病院から薬剤情報提供依頼が来る頻度はどれくらいですか？（直近の月） *

回答例：「〇件/月」または「なし」

回答を入力

8.その依頼のうち、対応できる割合はどれくらいですか？

回答例：〇%

回答を入力

9.退院時共同指導料（1 または 2）の算定状況を教えてください（直近の月）。

回答例：「〇件/月」または「なし」

回答を入力

[戻る](#)

[次へ](#)

3/7 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 京都大学医学部附属病院 内部で作成されました。
このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



ケア移行時における薬剤情報の連携に関する実態調査（薬局）

[Google にログイン](#)すると作業内容を保存できます。 [詳細](#)

* 必須の質問です

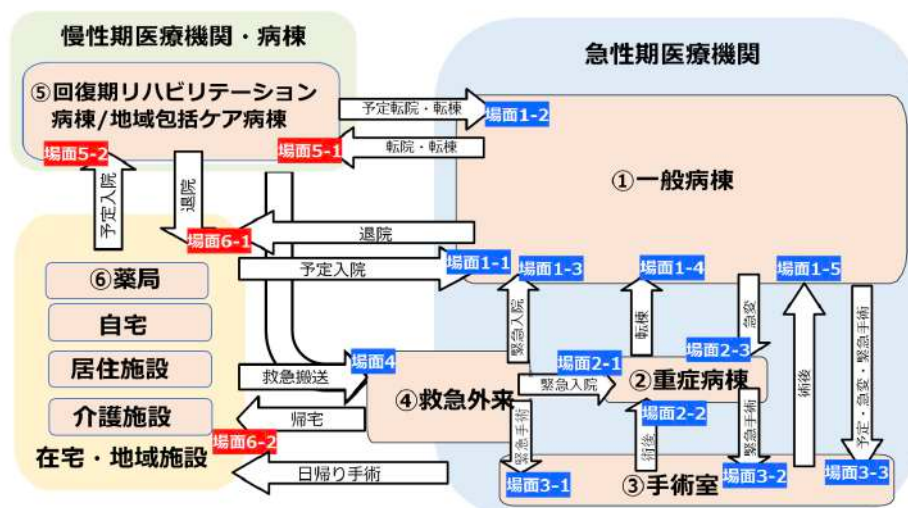
II. ケア移行時の薬剤情報連携に関するアンケート

ケア移行場面

ケア移行時における薬剤情報の連携に関する

実態調査

ケア移行場面（アンケート調査）



（薬局）場面 5-2、6-1、6-2

急性期医療機関からの退院の場合 *

- ☐ 十分に行われている（80%以上）
- ☐ 行われている（60%以上80%未満）
- ☐ 一部で行われている（30%以上60%未満）
- ☐ ほとんど行われていない（10%以上30%未満）
- ☐ 行われていない（10%未満）

慢性期・回復期医療機関からの退院の場合 *

- ☐ 十分に行われている（80%以上）
- ☐ 行われている（60%以上80%未満）
- ☐ 一部で行われている（30%以上60%未満）
- ☐ ほとんど行われていない（10%以上30%未満）
- ☐ 行われていない（10%未満）

2.薬剤情報の提供・共有を行うことが最も多い職種を選択してください。 *

- ☐ 退院元の病院薬剤師
- ☐ 退院元の入退院センターに勤務する医療者
- ☐ ケアマネージャー
- ☐ 施設担当者
- ☐ その他:

2. 薬剤情報の共有を行う際、どのようなツールや方法が使用されていますか？ *
（複数選択可）

- ☐ お薬手帳（患者持参）
- ☐ 施設間情報提供文書（患者持参）
- ☐ 口頭（電話・対面）
- ☐ 文書（紙）
- ☐ FAX
- ☐ メール
- ☐ 薬剤師記録
- ☐ 地域医療情報システム
- ☐ マイナポータル・オンライン資格確認システム
- ☐ その他:

3.情報共有で困難だと感じる場面をお答えください（複数選択可） *

- ☐ 問題と感じたことはない
- ☐ 情報不足
- ☐ タイムラグの発生
- ☐ 形式の統一性欠如
- ☐ その他:

4. 情報共有がスムーズに行われない場合、どのような影響がありますか？（複数選択可） *

- ☐ 投薬エラーなどの医療過誤（再開・中止忘れを含む）
- ☐ 患者のアドヒアランス低下
- ☐ 患者・家族の不安増大
- ☐ 副作用・相互作用の見逃し
- ☐ 情報の再確認に時間がかかる
- ☐ 不要な医療・介護サービスの発生
- ☐ 再入院・重症化による医療費増大
- ☐ その他:

6.連携が取れていると感じる場合、それはどのような体制や工夫によるものですか？

回答を入力

戻る

次へ

4/7 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 京都大学医学部附属病院 内部で作成されました。
このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム

ケア移行時における薬剤情報の連携に関する実態調査（薬局）

Google にログインすると作業内容を保存できます。 [詳細](#)

* 必須の質問です

③実施できている/できていない理由

1. 薬剤情報の共有が難しいと感じる理由は何ですか？（複数選択可） *

- ☐ 入院する予定・入院したという情報の連絡がないこと
- ☐ 情報共有のための時間不足
- ☐ 情報提供のためのツールやシステムが整備されていない
- ☐ 標準化された情報伝達のフォーマットがない
- ☐ 薬剤師間の連携不足
- ☐ 他職種間のコミュニケーション不足
- ☐ 情報の正確性や信頼性に対する懸念
- ☐ 法律や規則による制約
- ☐ その他:

2. 逆に薬剤情報の共有がスムーズに行えている場合、その理由は何ですか？（複数選択可） *

- ☐ 電子カルテや薬剤情報共有システムを活用している
- ☐ 標準化された情報伝達のフォーマットを使用している
- ☐ 薬剤師間で連携体制が構築できている
- ☐ 他職種間で信頼関係が構築できている
- ☐ 病院薬剤師と保険薬局薬剤師が円滑に連携ができている
- ☐ 地域連携パスが活用できている
- ☐ お薬手帳などのツールを積極的に活用できている
- ☐ 患者・家族に対する服薬指導が徹底されている
- ☐ その他:

[戻る](#)

[次へ](#)

5/7 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 京都大学医学部附属病院 内部で作成されました。
このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)



ケア移行時における薬剤情報の連携に関する実態調査（薬局）

Google にログインすると作業内容を保存できます。 [詳細](#)

* 必須の質問です

④提供できる情報と必要な情報

1.現在、あなたの職種や機関で提供可能な薬剤情報にはどのようなものがありますか？（複数選択可） *

- ☐ 処方箋情報・使用中の薬剤情報
- ☐ 服薬指導内容
- ☐ 副作用歴・アレルギー歴
- ☐ 併用薬・併用療法の情報
- ☐ 病名
- ☐ 検査値
- ☐ 服薬アドヒアランス
- ☐ 退院後の予定管理者
- ☐ 介助が必要な薬剤情報
- ☐ 患者の管理方法
- ☐ 服薬管理上の問題点
- ☐ 服薬時の工夫
- ☐ 患者の生活面に関する情報（ADL、自宅・生活環境など）
- ☐ その他:

1. ケア移行時にあなたが「必要」と感じる薬剤情報はどのようなものですか？＊
（重要なものを3つ選択し、重要度に基づき1位から3位まで順位をつけてください。
処方箋情報は既に受けてとっていると仮定してご回答ください。）

	入院中 の薬歴 (処方 の変 更、休 薬、新 規処方 など)	服薬指 導内容	副作用 歴・ア レルギー 一歴	併用 薬・併 用療法 の情報	病名	検査値	服薬ア ドヒア ランス	退院後 の予定 管理者	介助が 必要な 薬剤情 報	患者 管理 法
1位	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2位	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3位	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

1-2.上記で「その他」を選択した方は、その内容を具体的にご記入ください。

回答を入力

2.現在不足していると感じる情報や課題があれば教えてください。

回答を入力

戻る

次へ

6/7 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 京都大学医学部附属病院 内部で作成されました。
このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム

ケア移行時における薬剤情報の連携に関する実態調査（薬局）

Google にログインすると作業内容を保存できます。 [詳細](#)

⑤改善に向けて

1. ケア移行時における薬剤情報の連携を改善するために必要だと考えることを教えてください

- ☐ システムの導入（電子カルテや共有プラットフォーム）
- ☐ 他職種連携のための定期的なミーティング
- ☐ 情報の標準化（統一フォーマットの作成など）
- ☐ 教育や研修の充実
- ☐ その他:

2. その他、ご意見やご要望があればご自由にお書きください。

回答を入力

[戻る](#)

送信

7/7 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 京都大学医学部附属病院 内部で作成されました。
このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム